

福岡学園は「口腔医学」を推進しています。

〈福岡学園広報誌〉

New Sophia

ニューソフィア

131号

[VOL.34-③]

July 2026



撮影：中島 真吾（株式会社エスエス）

｜特集｜ 福岡看護大学の教育に関する取り組み

教養と良識を兼ね備えた 医療人の育成

開学から10年目を迎えた福岡看護大学
これまでも、そしてこれからも、口腔から全身の
健康を支える看護専門職を育成していきます。



福岡看護大学は、今年4月に開学から10年目を迎えました。これまで、医療人としての倫理観の育成に加え、多職種連携による口腔アセスメントや口腔ケア教育にも力を入れてきました。福岡歯科大学、福岡医療短期大学と連携した口腔医学教育を通して「口腔から全身の健康を守る看護」という本学の特色である教育を実践し、606人の卒業生を輩出しています。卒業生は、各地の医療現場において優秀な看護師として活躍しています。

開学当時から続く チューター制度



本学の大きな特徴の一つが、開学からずっと継続しているチューター制度です。この制度では、1年生から4年生までの約15～17名の学生を一人の教員が担当し、大学生生活を学修面だけでなく精神面からも全面的にサポートします。

教員は、履修計画や学習方法の指導・助言に加え、人間関係や学生生活に関する悩み、心身の健康、経済面や奨学金、進路（就職・進学）など幅広い相談に対応しています。また、必要に応じて保健管理センターと連携し、専門的な支援にもつなげています。

学生一人ひとりに寄り添った 学修支援

本学では、学生一人ひとりが安心して学びを深められるよう、段階的で丁寧な教育を行っています。1年次には、高校時代に苦手だった科目の復習や大学での学習方法を学ぶ科目を配置しています。また、専門基礎科目は、内容の難易度や学習量を考慮し、学生にとって理解しやすい順序で授業を進めています。本学では必修科目の単位を1つでも取れないと進級できないため、個々の学生に対する手厚い学修支援を行っています。

2年次からは、基礎看護学をはじめ、成人、小児、母性、精神、高齢者、地域在宅看護などの専門科目の学修を深めていきます。3年次からは保健師養成課程の学修も本格化し、後期には約半年間の臨地実習が始まるため、体調管理を含め、充実した実習を行えるようきめ細やかな支援を行っています。

4年次は、就職活動、卒業研究、国家試験対策と、大学生活の集大成となる重要な時期です。本学では電子テキストやビーコンによる出席システムを導入し、4年間を通して、チューターや教員、事務職員が全員で連携し、学生を一人も取り残さないよう支援を続けています。



教育の質を支える IRの取り組み

福岡看護大学では、令和3年度から「教育支援・教学IR室」を設置し、感覚や経験に頼るのではなく、データに基づいた教育改善を行っています。この部署は、教育・研究の質向上や内部品質保証を支える重要な役割を担い、各種データの分析を通じて教育の質を高めています。こうしたエビデンスに基づく教育を、教員一人ひとりが丁寧に実践することで、本学の看護教育は継続的に発展しています。



目次 Contents

Seasonal News 季節のニュース

- 3・4 ◆ 令和7年度事業報告および決算について

Campus News 学園の話題

- 5 ◆ 福岡歯科大学同窓生の
ご子息・ご息女対象オープンキャンパスを開催
- ◆ 福岡歯科大学学年説明会
ならびに個別面談会 開催案内
- 6 ◆ 福岡医療短期大学3年次生が
福岡市内の小学校で歯科保健指導を実施
- ◆ 福岡看護大学第1学年が
地域在宅看護フィールド演習を実施
- 7 ◆ 高大連携プログラム
福岡学園キャンパスツアーを開催
- 8 ◆ 福岡歯科大学・福岡看護大学
学生研究支援プログラム
リサーチ・スチューデントが決定
- ◆ 「健康開花フェスティバル2026」で
歯科医師による健康相談を実施
- 9 ◆ 2026年度オープンキャンパス開催日
- ◆ 令和8年度
福岡看護大学・福岡医療短期大学
高校教員対象合同入試説明会を開催
- 10 ◆ 令和8年度
福岡歯科大学医科歯科総合病院
歯科医師臨床研修指導歯科医講習会のご案内
- ◆ 第19回 健康まるごと福岡学園 開催案内
- 11 ◆ 福岡医療短期大学チームが
ミャンマーにて医科歯科医療支援
- 12 ◆ 水田祥代理事長が
九州大学医学部同窓会「学士鍋賞」受賞
- ◆ 田口智章常務理事(福岡医療短期大学長)が
WOFAPS 世界小児外科学会議にて表彰

People 学園の「ひと」

- 13 ◆ 評議員紹介
- ◆ 教員紹介

Events Report 学園行事レポート

- 14 ◆ ご寄付のお願い

From Alumni 同窓会だより

- 15 ◆ 学術報告(森川 秀典氏・31期生)
- ◆ 同窓生からの手紙(山田 道男氏・6期生)
- 16 ◆ Hi! From Clinic(京極 和彦氏・15期生)
- ◆ 卒業生NOW(井野 健氏・17期生)

Affluent Voices みんなの声

- 17 ◆ 看護大学だより
- ◆ 学生からのメッセージ
(石川 慎之助・福岡歯科大学 第5学年)
- 18 ◆ 短大Voices
- ◆ コラム
- ◆ 編集後記

Information

- 裏表紙 ◆ 入試日程
(福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)

令和7年度事業報告および決算について

学校法人福岡学園の事業報告および決算が、6月16日開催の理事会で承認され、6月23日開催の評議員会で意見聴取を行いました。概要は次のとおりです。

1.教育の質の向上

- (1) 歯科大学では、診療参加型臨床実習の充実を目的として、自験症例をシステムへ登録する仕組みを導入し、症例数の把握を行いました。また、プロフェッショナルリズム・コミュニケーション能力について、臨床実習時の参加態度や取組状況を把握し、指導上の課題を抽出しました。これを踏まえ、次年度より参加態度を評価する仕組みを導入することとしました。大学院歯学研究科では、医学科目の講義・実習を必須科目とし、医科疾患の診断・治療に係る臨床演習を通じて口腔医学教育の充実を図りました。
第119回歯科医師国家試験は、新卒49名、既卒20名の計69名が合格しました。入学後に留年することなく国家試験に合格する割合は、昨年度私立歯科大学17校中第5位でしたが、昨年度を上回る合格率を達成しているため、更なる上位進出の見込みです。
- (2) 看護大学では、口腔ケア教育に関連する科目の整合性を教員間で確認し、口腔ケア看護教育モデルの可視化を行いました。また、学習成果の向上を目的として教育教材のデジタル化を開始しました。さらに、

ディプロマ・ポリシーの達成度を可視化したディプロマ・サブリメントを卒業生に配布しました。大学院看護学研究科では、口腔健康に関する病態生理及び研究方法に関する教育を充実させました。また、歯科衛生士の社会人学生3名が所定年数で修了しました。

第115回看護師国家試験は、110名中104名が合格し、第112回保健師国家試験は、受験者11名全員が合格しました。

- (3) 短期大学では、ディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応案を作成し、ホームページで公表しました。また、「専任教員認定歯科衛生士」の資格取得に向けた研修に教員が参加し、口腔保健に関する知識を深めました。専攻科では、歯科大学及び看護大学との3大学合同講義を実施しました。また、口腔機能の発達・維持・向上に関するセミナーを専攻科生が実施し、高校生における歯科衛生士の認知度を向上させました。

第35回歯科衛生士国家試験では、新卒50名全員が合格(合格率100%)し、既卒10名中9名が合格しました。

2.研究の質の向上

- (1) 口腔医学研究センターでは、5つの研究プラットフォーム(PF)を構築し、学園3大学から選抜した29名の研究者を適切なPFに配置しました。また、「口腔医学研究センターシンポジウム2025」を開催し、研究成果の発表を行いました。
- (2) 看護大学では、口腔を基盤とした保健・医療・福祉に関する研究成果を論文として発信し、海外誌(European Journal of Dental Education)に掲載されました。

- (3) 短期大学では、歯科衛生士研修支援センターでの研修受講者に対する調査結果を基に、学会発表5件及び論文作成4件を行いました。
- (4) 学園3大学は、研究倫理及び公的研究費等に係るコンプライアンス教育を実施し、対象者全員が受講しました。
- (5) 専任教員の論文数(著書、総説、原著論文、症例報告等)は、歯科大学116編(うち欧文70編)、看護大学25編(同13編)、短期大学17編(同10編)でした。

3.学生の受け入れ・支援

- (1) 学園3大学では、協定を締結している高校との連携を強化し、キャンパスツアー、出前講座、インターンシップの受け入れ等を実施しました。看護大学においては、新たに中村学園女子高校との協定を締結しました。
- (2) 歯科大学では、新キャンパス及び特待生制度に関する広報を強化し、オープンキャンパス参加者が前年度比約1.5倍となりました。
- (3) 看護大学では、IRを活用した大学のブランド化による広報戦略を推

進し、ホームページやSNS等で情報発信を行いました。

- (4) 短期大学では、オープンキャンパス参加者の高校を訪問、SNSを活用した広報及び高大連携等の積極実施により、令和8年度も入学定員を充足しました。
- (5) 令和8年度の入学者数は、歯科大学口腔歯学部115名、同大学院17名、看護大学看護学部113名、同大学院9名、短期大学歯科衛生学科87名、同大専攻科22名でした。

4.社会との連携・貢献

- (1) 地域連携センターでは、田村校区自治協議会と連携協定を締結し、同協議会等との連携活動である地域カフェ「かふえもりのいえ」において地域食堂の運営を開始しました(年間12回、参加者1,010名)。また、歯科大生による子ども食堂における学習支援、市民向け健康イベントへの歯科医師の派遣、中学校職場体験の受け入れ等の社会貢献活動を行いました。
- (2) 短期大学では、歯科衛生士研修支援センターにおいて9回の研修を実施し、延べ372名の参加があり、高い評価を得ました。
- (3) 医科歯科総合病院では、令和7年度より入退院支援加算Ⅱ(190点)から加算Ⅰ(700点)への上位区分に変更し、235件の支援を行いました。

また、健診センターにおいては、充実した対応を継続した結果、対前年比120.1%の一般健診受診者が増加しました。

1日平均の外来患者数は810.1人、入院患者数は32.1人でした。

- (4) 老健施設では、コンサルタント会社のサポート会員を継続し、在宅復帰率30%以上の維持を図りつつ、施設類型を加算型で継続しながら入所者数の増加に取り組みました。
1日平均の入所者数は51.4人、通所利用者数は22.0人でした。
- (5) 国際交流については、歯科大学は、リバプール大学、ブリティッシュコロンビア大学、上海交通大学、慶熙大学校歯科大学との交流を実施したほか、看護大学は、リバプール大学と初の交流を実施しました。

5.組織運営及び財務・施設整備

- (1) 私立学校法改正に伴い、役員、評議員、会計監査人の選任を行い、理事長に水田祥代氏、常務理事に田口智章氏の再任を決定しました。
- (2) 働き方改革の一環として、学園3大学の教員を対象に専門業務型裁量労働制を導入するとともに、労務管理のデジタル化を推進するため、勤怠管理システムの導入を進めました。
- (3) 病院は、特定共同指導受審に向け準備委員会を設置し、電子カルテ

の記載および保険請求の再確認を病院全体で取り組んだが、結果として再指導となりました。厚生労働省からの82項目の指摘事項に対し、院内の運用見直し等の改善を行い、改善報告書を提出しました。

- (4) 新キャンパス整備計画Ⅰ期工事(新本館)は7月に竣工し、8月に引越を実施して移転を完了させました。現在、旧本館の解体工事を実施しています。

令和7年度(第54期)決算の概要

令和7年度(第54期)の貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書および財産目録の概要は次のとおりです。

○貸借対照表

■貸借対照表総括表 (令和8年3月31日)

(単位：千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	64,615,965	68,015,635	△3,400,270
有形固定資産	31,612,650	27,823,896	3,788,752
特定資産	30,724,944	31,802,864	△1,077,920
その他の固定資産	2,277,771	8,388,873	△6,111,102
流動資産	2,125,066	2,329,713	△204,647
資産の部合計[A]	66,740,431	70,345,348	△3,604,917
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	11,556,055	12,632,609	△1,076,554
流動負債	2,522,972	2,186,593	336,379
負債の部合計[B]	14,079,027	14,819,202	△740,175
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	59,587,597	54,497,263	5,090,334
第1号基本金	35,246,715	30,173,485	5,073,230
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	23,721,882	23,704,778	17,104
第4号基本金	619,000	619,000	0
繰越収支差額	△6,926,193	1,028,883	△7,955,076
純資産の部合計[C]	52,661,404	55,526,146	△2,864,742
負債及び純資産の部合計	66,740,431	70,345,348	△3,604,917

■前年度末との主な増減は次のとおりです。

【資産の部】	
・有形固定資産は本館建設工事に係る資産の取得などにより、37億8,900万円の増となりました。	
・特定資産は病院・記念講堂・本館建設工事に係る借入金の返済に充当する減価償却引当特定資産10億9,500万円を取り崩したことにより、10億7,800万円の減となりました。	
・その他の固定資産は本館建設工事費の支払に充当する有価証券58億1,700万円を取り崩したことなどにより、61億1,100万円の減となりました。	
【負債の部】	
・固定負債は病院・記念講堂・本館建設工事に係る借入金の返済金10億9,500万円を支払ったことにより、10億7,700万円の減となりました。	
・流動負債は貸与引当金を計上したことにより、3億3,600万円の増となりました。	
【純資産の部】	
・第1号基本金は本館建設工事に係る自己資金支払額及び病院・記念講堂・本館建設工事に係る借入金返済額などを組み入れたことにより、50億7,300万円の増となりました。	
・繰越収支差額は基本金に51億1,600万円を組み入れたことなどにより、79億5,500万円の減となりました。	

○事業活動収支計算書

■事業活動収支計算書総括表 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	7年度予算 ①	7年度決算 ②	予算との差異 (①-②)	6年度決算 ③	前年度決算との 差異(②-③)
事業活動収支の部	1 学生生徒等納付金収入	3,319,852	3,115,985	203,867	3,209,414
	2 手数料収入	25,135	29,984	△4,849	27,226
	3 寄付金収入	111,700	59,699	52,001	145,917
	4 経常費等補助金	597,200	896,224	△299,024	555,309
	5 付随事業収入	439,700	443,919	△4,219	413,294
	6 医療収入	2,510,000	2,402,069	107,931	2,491,828
	7 雑収入	150,670	260,413	△109,743	328,858
	[A] 教育活動外収入計	7,154,257	7,008,293	145,964	7,171,846
	1 人件費	4,573,894	4,578,267	△4,373	4,649,105
	2 教育研究経費	3,642,182	4,069,745	△427,563	3,237,652
事業活動収支の部	3 管理経費	700,133	769,557	△69,524	576,442
	4 借入不能額等	0	1,186	△1,186	3,657
	[B] 教育活動外支出計	8,916,209	9,418,855	△502,646	8,466,856
	[C] 教育活動外収支差額	△1,761,952	△2,410,562	648,610	△1,295,010
	1 受取利息・配当金収入	430,980	441,437	△10,457	433,029
	2 その他の教育活動外収入	0	0	0	0
	[D] 教育活動外収入計	430,980	441,437	△10,457	433,029
	1 借入金等利息	124,376	143,011	△18,635	25,648
	2 その他の教育活動外支出	0	0	0	0
	[E] 教育活動外支出計	124,376	143,011	△18,635	25,648
教育活動収支の部	[F] 教育活動外収支差額	306,604	298,426	8,178	△108,955
	[G] 経常収支差額	△1,455,348	△2,121,136	656,788	△807,369
	1 資産売却差額	0	0	0	0
	2 その他の特別収入	80,000	115,469	△35,469	15,021
	[H] 特別収入計	80,000	115,469	△35,469	15,021
	1 資産処分差額	0	478,507	△478,507	59,385
	2 その他の特別支出	0	389,569	△389,569	1,092
	[I] 特別支出計	0	868,076	△868,076	807,599
	[J] 特別収支差額	80,000	△752,607	832,607	△45,456
	[K] 予備費	300,000	300,000	0	0
教育活動収支の部	[L] 基本金組入前当年度収支差額	△1,675,348	△2,864,743	1,189,395	△933,085
	[M] 基本金組入額合計	6,473,304	5,116,303	△1,357,001	△1,171,649
	[N] 当年度収支差額	6,148,652	△7,981,046	△167,606	△2,104,734
	[O] 前年度繰越収支差額	816,625	1,028,883	△212,258	3,132,223
	[P] 基本金取崩額	0	25,970	△25,970	1,394
	[Q] 翌年度繰越収支差額	△7,332,027	△6,926,193	△405,834	1,028,883
	(参考)				
	事業活動収入計	7,665,237	7,565,199	100,038	7,619,896
	事業活動支出計	9,340,585	10,429,942	△1,089,357	8,552,961
					△1,876,961

■活動区分ごとの収支は次のとおりです。

【教育活動収支】 経常的な収支のうち、学校法人の本業である教育研究事業の収支状況を表す。	
収入は70億800万円、支出は94億1,900万円となり、収支差額は24億1,100万円の支出超過となりました。	
【教育活動外収支】 経常的な収支のうち、財務活動と収益事業による収支状況を表す。	
収入は4億4,200万円、支出は1億4,300万円となり、収支差額は2億9,900万円の収入超過となりました。	
【経常収支差額】 経常的な事業活動による収支バランスを表す。	
教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合計した経常収支差額は21億1,200万円の支出超過となりました。	
【特別収支】 一時的に発生した臨時的な事業活動による収支状況を表す。	
収入は1億1,500万円、支出は9億6,800万円となり、収支差額は7億5,300万円の支出超過となりました。	

○資金収支計算書

■資金収支計算書総括表 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

【収入の部】					
科 目	7年度予算 ①	7年度決算 ②	予算との差異 (①-②)	6年度決算 ③	前年度決算との 差異(②-③)
1 学生生徒等納付金収入	3,319,852	3,115,985	203,867	3,209,414	△93,429
2 手数料収入	25,135	29,984	△4,849	27,226	2,758
3 寄付金収入	111,700	59,699	52,001	129,857	△83,859
4 補助金収入	667,200	796,271	△129,071	555,309	240,962
5 資産売却収入	5,817,016	6,068,830	△251,814	128,649	5,940,181
6 付随事業・収益事業収入	439,700	443,919	△4,219	413,294	30,625
7 医療収入	2,510,000	2,402,069	107,931	2,491,828	△89,759
8 受取利息・配当金収入	430,980	441,437	△10,457	433,029	8,408
9 雑収入	150,670	212,355	△61,685	314,969	△102,614
10 借入金等収入	0	0	0	6,000,000	△6,000,000
11 前受金収入	443,450	585,721	△142,271	503,546	82,175
12 その他の収入	1,540,435	1,749,206	△208,773	1,673,695	75,513
13 資金収入調整勘定	△882,650	△1,155,735	273,085	△1,121,437	△34,296
[A] 当年度収入合計	(14,573,488)	(14,736,042)	(162,554)	(14,759,379)	(△23,337)
[B] 前年度繰越支払資金	971,133	1,647,697		1,752,238	
収入の部合計	15,544,621	16,383,739	△839,118	16,511,617	△127,878

【支出の部】					
科 目	7年度予算 ①	7年度決算 ②	予算との差異 (①-②)	6年度決算 ③	前年度決算との 差異(②-③)
1 人件費支出	4,505,830	4,588,034	△82,204	4,604,523	△16,489
2 教育研究経費支出	2,423,433	2,892,456	△469,023	2,236,364	656,092
3 管理経費支出	516,499	562,182	△45,683	468,146	94,036
4 借入金等利息支出	124,376	143,011	△18,635	25,648	117,363
5 借入金等返済支出	1,095,024	1,095,024	0	1,142,526	△47,502
6 施設関係支出	5,282,498	4,413,961	868,537	6,011,029	△1,597,068
7 設備関係支出	267,042	946,572	△679,530	124,726	821,846
8 資産運用支出	7,311	251,814	△244,503	223,063	28,751
9 その他の支出	571,774	669,858	△98,084	483,033	186,825
10 [予備費]	300,000	300,000	0	300,000	0
11 資金支出調整勘定	△353,475	△390,681	37,206	△455,138	64,457
[C] 当年度支出合計	(14,739,862)	(15,172,231)	(△432,369)	(14,863,920)	(308,311)
[D] 翌年度繰越支払資金	804,759	1,211,508	△406,749	1,647,697	△436,189
支出の部合計	15,544,621	16,383,739	△839,118	16,511,617	△127,878

■主な内容は次のとおりです。

【収入の部】		内 容	
1 学生生徒等納付金収入	31億1,600万円	資料大学は21億8,300万円、看護大学は7億1,500万円、短期大学は2億1,800万円となり、資料大学の在籍学生数の減により、前年度比9,300万円減の31億1,600万円となりました。	
4 補助金収入	7億9,600万円	経常費補助金3億3,700万円、施設高度化推進事業費補助金8,800万円、授業料等減免費補助金2億600万円など前年度比2億4,100万円増の7億9,600万円となりました。	
5 資産売却収入	60億6,900万円	保有債券の償還などにより、前年度比59億4,000万円増の60億6,900万円となりました。	
7 医療収入	24億200万円	資料収入は前年度比6,100万円減の14億1,100万円、資料収入は前年度比2,800万円減の9億9,100万円となり、前年度比8,900万円減の24億200万円となりました。	
【支出の部】		内 容	
2 教育研究経費支出	28億9,200万円	修士支援新制度の拡充等に伴う奨学金2億2,500万円の増、本館建設関係経費及び移転費用4億1,300万円など前年度比6億5,600万円増の28億9,200万円となりました。	
6 施設関係支出	44億1,400万円	本館建設工事費39億8,200万円、本館外構工事費3億6,400万円など、前年度比15億9,700万円減の44億1,400万円となりました。	
7 設備関係支出	9億4,700万円	本館講義室家具什器等購入費5億2,800万円、実習室整備費2億7,100万円など前年度比8億2,200万円増の9億4,700万円となりました。	

○財産目録

■財産目録総括表 (令和8年3月31日)

(単位：円)

科 目	年度末	科 目	年度末
一 資産額		二 負債額	
(一) 基本財産		(一) 固定負債	
1 土地	2,893,495,049	1 長期借入金	9,969,840,000
2 建物	24,104,377,183	2 退職給付引当金	1,495,035,169
3 構築物	1,074,797,398	3 役員退職慰労引当金	90,680,000
4 教育研究用機器備品	2,034,357,515	4 長期預り金	500,000
5 管理用機器備品	85,977,225		
6 図書	1,391,458,194	(二) 流動負債	
7 車両	5,987,836	1 短期借入金	1,095,024,000
8 電話加入権	1,705,991	2 未払金	334,753,990
9 教育研究用ソフトウェア	9,748,840	3 前受金	585,721,000
10 管理用ソフトウェア	4,957,114	4 預り金	194,883,284
		5 貸与引当金	312,589,788
(二) 運用財産		合 計	14,079,027,211
1 建物	22,200,016		
2 現金預金	1,211,507,562		
3 積立金	30,724,943,500		
4 有価証券	2,231,233,500		
5 長期貸付金	11,000,000		
6 長期前払金	19,125,865		
7 未収入金	631,301,688		
8 貯蔵品	26,464,352		
9 前払金	255,771,785		
10 立替金	20,303		
合 計	66,740,430,916		

Campus News

福岡歯科大学同窓生のご子息・ご息女対象 オープンキャンパスを開催

5月24日、福岡歯科大学同窓生のご子息・ご息女を対象としたオープンキャンパスを開催しました。県内外の高校生や保護者など35人が参加し、病院やロボット実習室などの施設見学や「シミュレーションソフトを使ってインプラント埋入手術の計画を立ててみよう」と題した実習体験、大学の概況や令和9年度入学者選抜に係る説明が行われました。

参加者からは「素晴らしい設備と建物でした」「先生方や学生さんに親切丁寧に案内していただきありがとうございました。娘も初めての体験だったようで、これからの高校生活、特に生活習慣の大切さを学ばせていただきました。来て良かったです。ありがとうございました」といった声をいただきました。



開会



実習体験「シミュレーションソフトを使ってインプラント埋入手術の計画を立ててみよう」



施設見学



入学者選抜説明

福岡歯科大学学年説明会 ならびに個別面談会 開催案内

福岡歯科大学では、在学生の保護者の皆様に本学の教育内容をご理解いただき、保護者の皆様との相互理解を深め、保護者・大学が一体となって今まで以上に学生をサポートする環境を構築することを目的に、本学キャンパスにて学年説明会ならびに個別面談会を開催しています。

学年説明会は対面で実施するとともに、大学ホームページ上に学年別の教育活動状況、対策や取り組み内容等についての説明資料を掲載しておりますのでご覧ください。

(当日の説明内容は、ホームページに掲載しているものと同一となります。)

◆開催日 2026年8月2日(日) ◆場 所 福岡歯科大学 本館

◆スケジュール

時 間	内 容	詳 細
10:00 ～ 12:00	個別面談会 第1ブロック	助言教員との面談
13:00 ～ 13:30	学年別説明会	学年別の教育活動状況、対策や取り組み内容等についての説明
13:30 ～ 15:30	個別面談会 第2ブロック	助言教員との面談
15:30 ～ 17:30	個別面談会 第3ブロック	

お問合せ 福岡歯科大学 学務課 学生係 TEL:092-801-1884(直通)

福岡医療短期大学3年次生が 福岡市内の小学校で歯科保健指導を実施

6月5日から29日の期間に福岡医療短期大学の3年次生延べ86名が各班に分かれて、福岡市内の小学校6校へ令和8年度小学校集団口腔衛生指導として歯科保健指導を実施しました。

学生たちは担当の小学校2年生のクラスごとに、各自工夫して作製したエプロンシアター（エプロンを使った人形劇）などの教材で歯の話から歯を染め出して、汚れの確認、正しい歯の磨き方を指導しました。

本指導は、これまでに学内で培った知識や技術を基礎として、実際の教育現場においてコミュニケーションや指導法を実践的に学ぶ臨地実習の一環として実施されました。

学生たちにとって、学校歯科保健における歯科衛生士の役割と重要性を深く理解する大変貴重な機会となりました。



キャンパスニュース

福岡看護大学第1学年が 地域在宅看護フィールド演習を実施

6月17日、福岡看護大学第1学年は地域在宅看護フィールド演習の一環として看護・介護活動が行われている医科歯科総合病院、介護老人保健施設サンシャインシティ、特別養護老人ホームサンシャインプラザにて看護の実際を見学しました。

学生たちは入学後初めての学外での演習に緊張した様子を見せながらも、各施設の見学を通してこれから深まる看護学の学習や well-being を目指した看護について考えました。4月28日から6月22日の同演習期間の最終日には各グループで学びをまとめ、ポスター発表しました。



見学施設に挨拶



リハビリの設備をシティで見学



医科歯科総合病院の病棟を見学



グループワークの様子



ポスター発表の様子



Campus News

高大連携プログラム 福岡学園キャンパスツアーを開催

5/19

筑紫女学園高等学校



短大 ユニット操作体験



看護大 実習着に着替えて受講



歯科大 実習を廊下から見学



看護大 血圧測定実習

5月19日から6月30日に、筑紫女学園高等学校と福岡市立高等学校3校(福岡女子高等学校、福岡西陵高等学校、福岡高等学校)の生徒を迎え、高大連携プログラムの一環である本学園3大学のキャンパスツアーを開催しました。

訪れた生徒たちは3大学と医科歯科総合病院で授業や施設の見学、実際に講義で使用する道具を用いた模擬実習などに参加し、歯科医師、看護師や歯科衛生士について理解を深めていました。

6/2

福岡女子高等学校



医科歯科総合病院見学



看護大 点滴実習



短大 ユニット操作体験



歯科大 ロボット実習

6/16

福岡西陵高等学校



看護大 実習の様子



看護大 高校生とグループ学習



歯科大 ロボット実習



短大 ユニット操作体験



短大 ユニット操作体験



短大 田口学長より学校紹介

6/30

福翔高等学校



短大 ユニット操作体験



短大 ユニット操作体験



歯科大 ロボット実習

看護大
ヘルスアセスメント演習

医科歯科総合病院見学



福岡歯科大学 研究課題

- 第5学年 石川 慎之助
「歯周病の健康格差と環境要因に関する探索的研究」
- 第4学年 浦崎 奈緒
「口腔病原微生物に対する食品由来成分の阻害効果の検証」
- 第3学年 池内 美優
「CD44 バリエーション型発現とその生物学的機能に関する研究」
- 第3学年 新開 穂波
「全ゲノム倍化を経由する不均一な異数性獲得の分子機構に関する研究」
- 第3学年 有松 希佐子
「HPV 陽性がん細胞の p53 を再活性化させる学術的基盤の確立と新たながん治療戦略の創出」
- 第3学年 有働 優香
「口腔感染症に対する経口ワクチンの検証」
- 第2学年 今村 青空
「生活習慣と口腔内環境が口臭に与える影響の統合的検討」
- 第2学年 小笹 洋誠
「マウス歯原性細胞の二次元培養による分化誘導の研究」
- 第2学年 西原 理央
「病原性微生物の薬剤感受性の解析」



福岡看護大学 研究課題

- 第4学年 新田 愛実
「ヤングケアラーが抱える課題に関する文献検討」
- 第1学年 吉田 瑛々花
「チーム医療と看護師のやりがいにおける文献検討」

福岡歯科大学・福岡看護大学 学生研究支援プログラム リサーチ・スチューデントが決定

令和8年度の福岡歯科大学・福岡看護大学 学生研究支援プログラムにおけるリサーチ・スチューデントが決定しました。この制度は、普段の講義・実習の先にある「研究」に強い関心を持っている学生を支援するもので、リサーチ・スチューデントが行う研究活動には、研究指導を行う分野に対して支援金が交付され、充実した研究活動を行うことができます。

今年度は、福岡歯科大学口腔歯学部生9名ならびに福岡看護大学看護学部生2名がリサーチ・スチューデントに採用されました。学生たちは自ら設定した研究課題に主体的に取り組み、物事の本質を見極める能力を磨いていきます。

キャンパスニュース

「健康開花フェスティバル 2026」で歯科医師 による健康相談を実施

6月13日、健康増進イベントの一環として全身の健康に関する催し「健康開花フェスティバル2026」が中村学園大学で開催されました。福岡歯科大学からは、岡曉子教授（成長発達歯科学講座・成育小児歯科学分野）と吉永泰周教授（口腔治療学講座・歯周病学分野）が参加し、累計で24名へ健康相談を実施しました。



Open Campus 2026

入学希望者をはじめ、そのご家族や高校・予備校の先生方を対象とした
オープンキャンパスを下記の日程で開催いたします。お気軽にご参加ください！

2026年度オープンキャンパス開催日！

福岡医療短期大学

7月25日(土) 8月21日(金)
9月5日(土) 10月24日(土)
11月7日(土) 12月12日(土)
2027年1月23日(土)
2027年3月24日(水)



福岡看護大学

8月11日(火・祝)



福岡歯科大学

8月29日(土)
10月24日(土)



Campus News

令和8年度

福岡看護大学・

福岡医療短期大学

高校教員対象合同

入試説明会を開催

6月26日、福岡県・佐賀県を中心とした高等学校を対象に、福岡看護大学と福岡医療短期大学の合同による高校教員対象合同入試説明会が開催され、今年度は18校の教員の方々に参加いただきました。説明会では、各大学の特徴や入試概要の説明のほか、『健康寿命の延伸に向けて、地域を支える保健師と公衆衛生看護学』と題した合同研修会も行われました。説明会終了後には、学内見学のほか、個別相談に対応しました。



令和8年度

福岡歯科大学医科歯科総合病院

歯科医師臨床研修指導歯科医講習会のご案内

令和8年10月10日(土)・11日(日)に、50周年記念講堂において標記講習会を実施します。

参加資格は次の通りです。

- 令和8年10月10日時点で以下(1)～(4)のいずれかを満たす者
- (1) 7年以上の臨床経験を有する歯科医師
 - (2) 5年以上の臨床経験を有する者であって、日本歯科医学会・専門分科会の認定医・専門医の資格を有する歯科医師
 - (3) 研修期間も含めて大学で5年以上の臨床経験を有する者
 - (4) 研修施設において指導歯科医の任にある者、指導歯科医となる予定の者

注

・財団法人歯科医療研修振興財団主催の歯科医師臨床研修指導医講習会の修了者は除きます。

・講習会の全プログラムに参加可能な方とします。

〔参加定員〕32名(1歯科診療施設1名まで)

〔参加費〕60,000円(参加費交通費及び宿泊費は、自己負担となります。)

〔申込締切〕令和8年7月31日(金)

お問い合わせ

福岡歯科大学歯科医師臨床研修室(平日のみ) 9:00～17:00

✉: rinken@fdcn.ac.jp

TEL: 092-801-0454

キャンパスニュース

第19回健康まるごと福岡学園 開催案内

日程 10月24日(土)・25日(日)
場所 50周年記念講堂・福岡看護大学 ほか

福岡学園では、医療・保健・福祉分野における総合的な取り組みを軸に、より広い分野での地域貢献を果たすため、学園祭「健康まるごと福岡学園」を開催します。イベントステージ、模擬店、体験コーナーなど多数の企画を用意して皆様のご来場をお待ちしております。

また、10月24日(土)には福岡歯科大学と福岡医療短期大学のオープンキャンパスも同時開催されますので奮ってご参加ください。

イベント 田の歯科祭 歯科無料相談 からだの科学展 医科ミニ講座

看護大企画 短大企画 介護施設見学・介護無料相談
地下鉄七隈線沿線三大学合同シンポジウム

お問合せ先 学校法人福岡学園 企画課

TEL: 092-801-0420(直通)



Campus News

福岡医療短期大学チームがミャンマーにて医科歯科医療支援
―肝移植患児の口腔内個別指導およびICGナビゲーション導入―

5月31日から6月7日まで、田口智章福岡医療短期大学長(常務理事)、井上庸子准教授、黒木まどか准教授、専攻科生2名(林恵里夏さん、室井愛紗さん)らが特定非営利活動法人ジャパンハート(以下、ジャパンハート)の事業およびボランティア活動として、ヤンゴンの小児医療専門施設や養育施設にて医科歯科医療支援を実施しました。専攻科生らは開発途上国の医科歯科の現場を学ぶ貴重な機会となりました(表1)。

5回目となる歯科の活動では、現地の歯科医師とともに、病棟の外科疾患や小児がんの患児の口腔内診査と口腔衛生指導、肝移植術後患児の口腔内個別指導・フッ化物塗布(図1)、養育施設にて口腔内診査、集団歯科保健指導、フッ化物塗布、口腔内個別指導(図2)など、延べ328名の子どもたちへ実施しました。

また、9回目となる医科の活動では、田口短大学長と熊本労災病院外科部長の林田信太郎医師の2名で13例のメジャー手術(胆道閉鎖4例、胆道拡張症4例、肝腫瘍2例、肝外傷1例、ウイルス性腫瘍1例、仙尾部奇形腫1例)を、現地の小児外科医に指導しながら実施しました。今回も学生や外科医師への講義や術前カンファレンス、術後回診、肝移植術後診察を行い、人材育成にも努めました。今回特記すべきことはICGナビゲーション手術の導入です。業者からのデモ機を使って、肝芽腫再発例の残肝の腫瘍の描出、胆道閉鎖の胆汁の流出確認に威力を発揮し始めました(図3)。なお今年から、ジャパンハートは外科疾患の早期診断・早期手術のために、3か月に1度、手術支援をする体制をスタートしました。

表1 ヤンゴン医科歯科活動(2026年5月31日-6月7日)

ヤンゴンの小児医療専門施設、児童養育施設 Dream Train

(医科第9回目)手術13例 外科チーム(田口、林田)		(歯科第5回目)歯科328名 歯科チーム(井上、黒木、専攻科生 林、室井)	
5/31	1140福岡ーバンコクーヤンゴン1800	6/6	1900 ヤンゴンーバンコクー福岡 6/7 0800
6/1	術前カンファレンス、術前診察、超音波検査 肝移植術後患者3名症例検討 手術:胆道拡張症2例、田口講義(ICG v1)	術前カンファレンス参加 矯正カンファレンス、症例相談 肝移植術後患者(3名) 口腔内診査・フッ素塗布・矯正準備 外科病棟:口腔内診査、歯磨き指導(40名) 集団歯科保健指導5回	
6/2	手術:胆道閉鎖2例 胆道拡張症2例		
6/3	手術:Wilms腫瘍1例、肝腫瘍1例 胆道閉鎖2例(ICG navi)、肝外傷再手術1例	血液腫瘍内科外来・口腔内診査、歯磨き指導(34名) 集団歯科保健指導3回	
6/4	外科病棟回診、画像供覧 田口講義(ICG v2) 林田講義(胆道閉鎖症) 午後ドリームトレイン見学	外科病棟フォローアップ(7名)・外科講義参加 歯科外来診察(1名)、口唇口蓋裂カンファレンス ドリームトレイン:歯科健診・個人指導15歳以上(40名)、 集団歯科保健指導15歳未満(52名)	
6/5	手術:肝芽腫再発肺転移1例(ICG navi)、 仙尾部奇形腫1例	外科手術見学:肝芽腫再発、仙尾部奇形腫 外科病棟フォローアップ(6名)・ ドリームトレイン:歯科健診・個人指導15歳以上(30名) 集団歯科保健指導(60名)	
6/6	術後病棟回診	ドリームトレイン:歯科健診・フッ素塗布15歳未満(52名) 個別指導クリーニング(3名)	



図1 専攻科生(室井さん、林さん)が肝移植術後患児へフッ化物を塗布



図2 ドリームトレインにて口腔内個別指導(黒木准教授)外科手術用のルーペとヘッドライトと手鏡を利用して



図3 肝芽腫に対するICGナビゲーション手術(田口学長:矢印)ICGカメラにて腫瘍が緑色に標識されている



水田祥代理事長が 九州大学医学部同窓会「学士鍋賞」受賞



九州大学小児外科の教室員、田尻教授、
田口常務理事、榎木看護大学長に囲まれて祝賀会



九州大学医学部同窓会外須美夫会長から
水田理事長に学士鍋賞授与

6月20日、九州大学医学部同窓会総会において本学園水田祥代理事長が「学士鍋賞」を受賞しました。同賞は、同大学医学部を卒業した同窓生を対象に、特に顕著な功労があった者、業績等によって同窓会の発展に大きく貢献した者を選考基準として年に1名受賞者が決定されます。

水田理事長は旧帝国大学系の医学部初の女性教授として、1989年9月に同大学医学部小児外科教授となりました。また2004年から女性初の国立大学医学部附属病院長として同大学病院病院長を4年間、さらに2008年10月からは女性初となる同大学理事・副学長を2年間務められました。

また、女性教授の先駆けとして、同大学在職中に「女性医療人きらめきプロジェクト」の立ちあげを支援し、女性医師の現場復帰への大きな流れをつくり、現在もその活動は継続しています。

水田理事長は、長年小児外科医学の臨床・研究・教育に取り組み、数々の顕著な業績を挙げ、日本国内のみならず、国際的にも小児外科医学の充実・発展に寄与されました。また、女性医師のリーダー的存在として医学界および同窓会の発展にも大きく貢献してきたことを評価され、この度の受賞となりました。

田口智章常務理事(福岡医療短期大学長)が WOFAPS 世界小児外科学会議にて表彰

6月12日、名古屋市で合同開催された日本小児外科学会、アジア小児外科学会、国際組織World Federation of Associations of Pediatric Surgeons (世界小児外科学会議。以下「WOFAPS」)において、田口智章常務理事が世界の小児外科学分野を代表する国際組織WOFAPSより永年にわたる小児外科学の発展への卓越した貢献が認められ「Lifetime Achievement Award (生涯功労賞)」を受賞しました(図1、2)。

WOFAPSは100か国以上の小児外科学会を結集する国際組織であり、本賞は小児外科分野において卓越した業績を挙げ、国際的な発展に大きく貢献した小児外科医に贈られる名誉ある賞です。

水田祥代理事長が2016年に受賞した同賞は、2013年以来これまでに世界で23名の小児外科医が受賞しています。田口常務は世界で24人目かつ日本人としては4人目の受賞者となる栄誉であり(図3)、また日本の小児外科学が国際的に高く評価されていることを示す快挙です。



図1 左から日本小児外科学会理事長 家入教授、
田口常務、WOFAPS現会長 Dr. Udo Rolle



図2 WOFAPS (世界小児外科学会議)
Lifetime Achievement Award(生涯功労賞)



図3 名古屋での受賞スピーチでは
WOFAPSの記念ジャケット
(2016年福岡開催時のもの)を披露

新評議員紹介



福岡市副市長
荒瀬 泰子 氏

6月23日に開催された評議員会において荒瀬泰子氏が評議員に選任されました。任期は、令和10年度定時評議員会終結時までです。

《福岡歯科大学》



新任
口腔画像
診断学分野
講師
西村 瞬

〔略歴〕九州歯科大学歯学部歯学科卒業。同大学大学院歯学研究科博士課程修了。開業歯科医院勤務、九州歯科大学歯科放射線学分野助教を経て、2026年5月1日、福岡歯科大学診断・全身管理講義口腔画像診断学分野講師に就任。博士（歯学）。

昇任



細胞生理学分野
准教授
進 正史

〔略歴〕九州大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了。九州歯科大学歯学部助手、埼玉医科大学ゲノム医学研

究センター病態生理部門研究員、The Forsyth Institute Mineralized Tissue Biology・John D.Bartlett 研究室研究員、The Ohio State University Biosciences Division・John D.Bartlett 研究室研究員、福岡歯科大学細胞分子生物学講座細胞生理学分野講師を経て、2026年6月1日、同分野准教授に就任。博士（歯学）。

学生後援会会長決定

《福岡歯科大学》



古田 洋介 氏

2月26日に開催された福岡歯科大学学生後援会理事会・評議員会合同会議において、同会長の改選が行われ、古田洋介氏が選任されました。

《福岡看護大学》



須賀 尚子 氏

4月30日に開催された福岡看護大学学生後援会理事会において、同会長の改選が行われ、須賀尚子氏が選任されました。

《福岡医療短期大学》



荒巻 健一 氏

3月6日に開催された福岡医療短期大学学生後援会理事会において、同会長の改選が行われ、荒巻健一氏が選任されました。

《福岡歯科大学》

福岡看護大学

学友会総務委員長決定



大安 慶吾 氏

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が行われ、第5学年大安慶吾さんが4月1日付で令和8年度総務委員長に就任しました。



山元 慈弓 氏

任期満了に伴う福岡看護大学学友会総務委員長の改選が行われ、第2学年山元慈弓さんが4月1日付で令和8年度総務委員長に就任しました。

充実した日々、
いろいろ!!

EVENT REPORT

学 園 行 事

学園の様々な
出来事を
ピックアップして
ご紹介!

EVENTS RECORD

イベントレコード

2026年5月

- ▶24日 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパス
- ▶オープンキャンパス

2026年6月

- ▶21日 オープンキャンパス
- ▶26日 福岡看護大学・福岡医療短期大学合同入試説明会

2026年7月

- ▶11日 オープンキャンパス
- ▶オープンキャンパス



人を対象とする研究の倫理および研究の実施に関する講習会



防災訓練



看護大海外研修壮行会



歯科大海外研修壮行会

EVENTS CALENDAR

イベントカレンダー

2026年7月

- ▶25日 オープンキャンパス
- ▶27日 開学記念式典

2026年8月

- ▶2日 学年説明会ならびに個別面談会
- ▶11日 オープンキャンパス
- ▶21日 オープンキャンパス
- ▶29日 オープンキャンパス

2026年9月

- ▶5日 オープンキャンパス

2026年10月

- ▶8日 献体者慰霊祭
- ▶15日 実験動物慰霊祭
- ▶24日 オープンキャンパス
- ▶オープンキャンパス
- ▶24日・25日 健康まるごと福岡学園

福岡歯科大学 福岡看護大学 福岡医療短期大学

どんな先生?

こんな先生!



総合医学講座
外科学分野
園田 英人 教授



■ ご寄付のお願い

学校法人福岡学園では、皆さまからの寄付金を募集しております。
お寄せいただいたご厚意は、教育研究活動の推進や環境整備の充実に活用させていただきます。

本学の発展のため、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お申し込みは下記QRコード(本学ホームページ)より受け付けております。各種クレジットカードやコンビニエンスストアでのお支払いも可能となっております。

VISA



JCB

AMERICAN EXPRESS

Diners Club INTERNATIONAL

お申し込み用QRコード
(本学ホームページに遷移します)

寄付に関する問い合わせ先
財務課 財務係
TEL 092-801-0416(直通)



同窓会だより

学術報告

歯科大

3大学合同

学術講演会2026開催

森川 秀典氏(31期生)

九歯大・九大・福岡大3大学合同学術講演会2026が、令和8年4月5日に福岡県歯科医師会館にて、現地開催とオンデマンド配信によるハイブリッド形式で開催され、約320名が参加しました。本大会は九州歯科大学同窓会(大会長・森章会長)が主管し、「これからの歯科医療を考える」をテーマに、3大学同窓会が連携して企画された講演会です。

当日は、矯正治療、デジタル骨造成、歯周治療、咬合再構成など、日常臨床に直結する多岐にわたる講演が行われ、最新の知見と臨床応用について活発な情報共有がなされました。

福岡歯科大学からは上田秀朗先生が『咬合再構成を極める 顎口腔系の変化や破壊を読み解く!』と題して講演され、顎口腔系が破壊された原因を審査・診断することの重要性に加えて個体差も考慮し、包括的なアプローチをしていくことが必要なことを解説されました。

今後も主管を交代しながら、継続的に合同学術講演会を開催していく予定であるため第2回も是非多くの皆様にご参加いただければと思います。



同窓生からの手紙

歯科大

『福岡歯科大学同窓会懇親会』開催のお知らせ

山田 道男氏(6期生)

同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より福岡歯科大学大分県同窓会に格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第78回九州歯科大学大会が、令和8年10月17日(土)・18日(日)の両日大分県に於いて開催されますが、それに伴う『福岡歯科大学同窓会懇親会』を左記の通り開催いたします。

今回の同窓会懇親会も、全国の同窓生を対象にご案内しております。尚、出席にしましては、後日改めてご連絡させていただきますが、地区ごとに取りまとめて頂き、メールあるいはファックスにて返信頂きますよう、ご協力お願い申し上げます。

貴地区会員の先生方へ、広くご周知いただき、是非大分までお越しください。大分県同窓会会員一同、皆様のご来県を心よりお待ちしております。

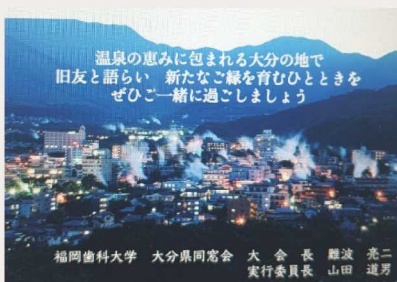
◎日時 令和8年10月17日(土)

午後6時より

◎場所 レンブラントホテル大分 2階

二豊の間

◎会費 15,000円



温泉の恵みに包まれる大分の地で
旧友と語り合い 新たなご縁を育むひとときを
ぜひ一緒に過ごしましょう

福岡歯科大学 大分県同窓会 大会長 藤波 亮二
実行委員長 山田 道男



開業25周年を迎えて

京極 和彦氏(15期生)

こんにちは、15期生の京極と申します。
熊本市南区できょうごく矯正歯科・小児歯科クリニックを開業して、はや25年が経ちました。

私が矯正歯科を妻が小児歯科を担当し、それぞれ専門的な立場で診療をしています。

開業当初は、矯正治療を受けているお子さんは一クラスに一人いるかいないかでしたが、現在では様々な矯正装置の普及に伴い、多くの子どもさんが矯正治療を受けておられて、矯正に携わる一人として大変喜ばしく思います。

小児治療では歯科治療はもちろん、最近増えた発達障害をもつ子どもたちの治療や口腔内環境の発達成長も考慮にいれて診療に携わっており、一人ひとりに適した時期と方法で最善の治療を行う事はとても重要だと考えています。

これから福岡歯科大学卒業のカラーを大切に、お子さんが一人でも多く歯医者が好きになってくれる様に、また健やかな口腔機能の発育をサポートできるように努めて参りたいと思っています。



熊本地震から10年

井野 健氏(17期生)

皆様こんにちは。17期生の井野と申します。早いもので卒業してから32年もの月日が経過しました。私は、卒業後直ぐに熊本市で開業されておられる5期生の鳥取孝治先生の下で2年間、12期生の村田尚之先生の下で3年間研修させて頂き、平成12年に熊本市中央区で開業いたしました。

開業と同時に熊本県歯科医師会野球部に入部し、月二回の練習に汗を流しております。体力、気力、視力の低下を実感する今日この頃、少しでも抗ってやろうという気持ちだけで続けています。今年も10月に大分県で九州歯科医学学会が開催されます。厚生事業の野球大会で先輩、同窓生、後輩に会えることを楽しみにしております。

野球と時々釣りを楽しみに、診療に追われる毎日を過ごしておりますが、平成28年4月に熊本で2度の大地震が発生いたしました。幸いにも家族、友人にケガ人はでなかったのですが、インフラが崩壊、水や物資の不足から衛生環境の悪化、口腔衛生環境の悪化から体調をくずされるお年寄りもおられました。災害時の健康維持や地域医療を支える重要な役割を歯科は担っている事を感じた体験でした。

日々の診療で一人ひとりの患者さんに寄り添い、平時だけではなく災害時にも地域住民の健康を支えられる歯科医療の提供を目指して、もうひと踏み張りしようと思っております。



新しい学び・
人・キャンパス、
福岡看護大学の
魅力をご紹介します！



#36

看護大学 だより

看護師の第一歩

基礎・基礎看護部門基礎看護学分野教授

荒川 満枝

地域在宅看護部門公衆衛生看護学分野講師

寒水 章納

2026年5月、1年生の身だしなみチェックが実施されました。白衣を着る時には、髪型や髪の色、爪の長さ、靴下の色など細かく規定されています。厳しいと思われるかもしれませんが、患者さんが「この人ならまかせて大丈夫」と安心して治療を継続するためには、看護師との信頼関係の構築が必須です。それには第一印象がすべてであると言っても過言ではありません。

また、ケアを行う際には患者さんに直接触れる機会が多くあります。髪型を整えておくことで気を散らさず、落ち着いて観察を行いながらケアを提供できます。爪の長さを整えておくことで、患者さんを傷つける可能性を低くすることが出来ます。身だしなみといても看護を提供する看護師として、最低限整えておかなければならぬ要件なのです。

1年生はお手本のように髪型や爪の長さなどをきっちりと整え、真っ新な



白衣に身を包んでいました。白衣を着てみての感想を尋ねると、「(白衣も白衣を着ている自分も)カッコいいと思いました」「ようやく看護大学に入学したという実感が持てました」など、やや興奮気味に答えてくれました。

看護師は非常に責任の重い仕事です。その責務を担えるよう、教職員全員で大切に育てていきたいと思っています。

From Student /

学生からのメッセージ

迷いの先に見つけた力

福岡歯科大学 第5学年 石川 慎之助



私はありふれた理由で、聞こえの良い言葉を並べて大学へ入学し、その時点では、確固とした何かを持ってはいませんでした。しかし、大学生活の中で周囲と苦楽を共にするうちに、ストリートで卒業するためには、ある一つの力である「ブレない心」が必要であると経験を通じて考えるようになりました。

1つ目のきっかけは、リサーチスチューデントとして谷口奈央教授の口腔保健学講座に所属し、第47回九州口腔衛生学会総会で優秀発表賞を受賞した経験です。研究活動では地道な作業を積み重ねる日々が続く、先の見えなさから諦めを感じることも多かったです。その中で、先生方と共に掲げた「優秀発表賞を取る」という目標だけが、自分の進むべき道を示していました。この経験を通して、困難な状況でも最後までやり切る力の重要性を学びました。

2つ目のきっかけは、共用試験に向けた勉強の過程です。共用試験とは資格試験であるため、自走(自学自習)する力が求められるものです。そこで求められているのは、最低限の範囲をどれだけ丁寧にこなせているかというものでした。先生がお話しされたから必要である、といった自分自身での思考を放棄した基準ではなく、自分自身の中での根拠をもった明確な基準で仕分けたものを最低限の範囲として扱い、それをブレずにこなしていく心を持つ試験でした。

これらの経験から、自分自身の目標や考えを持ちながらも、先人の知見を柔軟に取り入れ、努力を継続することの重要性を学びました。そしてその土台となる「ブレない心」こそが、ストリート合格への最短距離を示してくれるのだと信じ、一つひとつの通過点を着実に乗り越えていきたいです。その後は、何か一つに縛られず、研究と臨床の双方において没頭し、社会への貢献を実感できるような働きをしていきたいと考えています。

関わってくださった先生、友人、家族に感謝の意を添えて。



熊谷草

平家の栄枯盛衰は日本人の心を打つためか、源平に因んだ植物はいくつもある。中でも有名な花が熊谷草(クマガイソウ、*Cypripedium japonicum*)。ラン科アツモリソウ属の大きな花で、レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類の指定を受けている。唇のような花弁の形を武人の背負った母衣に見立ててクマガイソウと言うが、もちろん源平一ノ谷の戦いの熊谷直実に由来する。野生のものを初めて見たのが東京・高尾山の山頂近く。

直実に討たれたのは当時17歳の平敦盛。直実が騎馬で船に逃げ込もうとする敦盛に「敵に後ろを見せるとは」と声を掛けて呼び戻し、馬から組み落とす。首を刎ねようと兜を外すと、自分の息子直家と同じ年頃の美少年。直実は思い直して助けようとしたが、味方の多数の軍兵がすぐ後ろに迫り、それもならず涙ながらに敦盛の首を切った。

その後、直実は法然の弟子となって出家し、岡山県津山市近くの上人の生誕地に誕生寺を建立している。敦盛の名もクマガイソウと同属の敦盛草(アツモリソウ、*Cypripedium macranthos*)として残っている。

(内藤 徹)

編集後記

夏空がまぶしく、陽射しの強さを感じる季節となりました。各校では前期の学びの締めくくりの時期を迎えています。本号では教育・研究や地域貢献などに関する、福岡学園の取り組みの一端をご紹介します。それらの活動を通して、学園における日々を感じていただければ幸いです。

(藤田 亜美)



ミャンマーの児童養育施設の子どもたちと

信念がひろく新しい世界
く逆境を越えた先にある
「生きた教育」を目指して、

短大 VOICES #36



助教 高木 未沙稀

私は、平成30年に福岡医療短期大学の専攻科へ進学し、総合・高齢者歯科を専攻しました。実は、在学中に第一子を出産した経験があり、出産して2週間後の定期試験には円座を持参して臨み、登院実習中も過酷な痛みと闘いながら一日も休まず全うしました。

しかし、あのWindyな日々を全力で駆け抜けたからこそ、「不可能に思えることでも、自分を信じて挑戦し続ければ、新しい世界が広がる」と今の私の確固たる信念となっています。

また、令和7年11月30日〜12月6日(7日間)にかけて、念願だったミャンマーへの海外医療支援

援に携わることができました。現地の皆様から多くの感謝の言葉をいただき、大好きな子供達との関わりの中で、医療従事者としての原点を再確認する最高の経験となりました。

今後はこの活動で得た知見を還元し、常に初心を大切にしながら、未来の医療を担う学生達へ「生きた教育」ができるよう、さらに邁進してまいります。

お知らせ INFORMATION

入学者選抜日程

福岡歯科大学

区分	総合型 選抜1期	学校推薦型 選抜 (指定校推薦・公募推薦・ 離島推薦)	一般選抜 A日程	大学入学 共通テスト 利用選抜1期	一般選抜 B日程	大学入学 共通テスト 利用選抜2期	総合型 選抜2期	大学入学 共通テスト 利用選抜3期	一般選抜 C日程
募集人員	約8名	約10名	約45名	約5名	約15名	約5名	約3名	約3名	約2名
出願受付 期間	10.1(木) ～10.26(月)	11.2(月) ～11.20(金)	R9.1.4(月)～1.25(月)		R9.2.8(月)～3.1(月)		R9.3.1(月)～3.15(月)		
試験日	10.31(土)	11.28(土)	R9.2.3(水)		R9.3.5(金)		R9.3.20(土)		
合格発表日	11.2(月)	12.1(火)	R9.2.4(木)		R9.3.8(月)		R9.3.23(火)		

問合せ先

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係
TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427
●ホームページURL <https://d.fdcnet.ac.jp/> ●E-mail nyushi@fdcnet.ac.jp

福岡歯科大学大学院

一次募集	二次募集	三次募集
18名		
8.12(水) ～9.2(水)	R9.1.4(月) ～R9.1.20(水)	R9.2.10(水) ～R9.3.10(水)
9.4(金)	R9.1.22(金)	R9.3.12(金)
9.18(金)	R9.2.5(金)	R9.3.24(水)

福岡看護大学

区分	学校推薦型 選抜 (指定校推薦・公募推薦・ 離島推薦)	社会人選抜	一般選抜 前期日程 (沖縄試験場設置)	大学入学 共通テスト 利用選抜Ⅰ期	一般選抜 後期日程	大学入学 共通テスト 利用選抜Ⅱ期
募集人員	約50名	若干名	約40名	約5名	約5名	若干名
出願受付 期間	11.2(月)～11.11(水)		R9.1.4(月)～29(金)		R9.2.8(月)～26(金)	
試験日	11.14(土)		R9.2.7(日)	大学独自の試験は 課さない	R9.3.4(木)	大学独自の試験は 課さない
合格発表日	12.1(火)		R9.2.16(火)		R9.3.17(水)	

問合せ先

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡看護大学事務課
TEL.092-801-0486(直通) FAX.092-801-0412
●ホームページURL <https://n.fdcnet.ac.jp/> ●E-mail knyushi@fdcnet.ac.jp

福岡看護大学大学院

区分	一般入試・ 社会人入試 (前期)	一般入試・ 社会人入試 (後期)
募集人員	5名	
出願受付 期間	11.9(月) ～11.17(火)	R9.1.4(月) ～1.12(火)
試験日	11.24(火)	R9.1.18(月)
合格発表日	11.30(月)	R9.1.25(月)

福岡医療短期大学 【歯科衛生学科】

区分	総合型選抜・社会人総合型選抜						
	I期	II期	III期	IV期	V期	VI期	VII期
募集人員	I～VII期 約37名(社会人 各期若干名)						
出願受付期間	9.1(火) ～9.10(木)	9.11(金) ～9.24(木)	10.1(木) ～10.15(木)	12.7(月) ～12.17(木)	12.21(月) ～R9.1.7(木)	R9.2.1(月) ～2.9(火)	R9.2.22(月) ～3.10(水)
試験日	9.12(土)	9.26(土)	10.17(土)	12.19(土)	R9.1.9(土)	R9.2.12(金)	R9.3.12(金)
合格発表日	11.2(月)			12.24(木)	R9.1.14(木)	R9.2.18(木)	R9.3.18(木)

【専攻科】

区分	学校推薦型選抜			一般選抜		口腔保健衛生学専攻	
	指定校推薦	公募推薦	離島推薦	A日程	B日程	一次募集	二次募集
募集人員	約25名	約3名	約2名	約10名	約3名	約15名	約5名
出願受付期間	11.2(月)～11.12(木)			R9.1.8(金) ～1.29(金)	R9.2.22(月) ～3.10(水)	10.1(木) ～10.15(木)	12.7(月) ～12.17(木)
試験日	11.14(土)			R9.2.3(水)	R9.3.12(金)	10.17(土)	12.19(土)
合格発表日	12.1(火)			R9.2.9(火)	R9.3.18(木)	10.22(木)	12.24(木)

問合せ先

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係
TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473
●ホームページURL <https://hs.fdcnet.ac.jp/> ●E-mail gakumuj@fdcnet.ac.jp

【注】総合型選抜・社会人総合型選抜については、希望により上記以外の日程で実施することがあります。また、募集人員充足状況により募集を終了する場合があります。詳細は入試係までお問合せください。